



岡山県社会福祉士会災害活動報告

気がつけば、災害からはや5か月が過ぎました。他県からも多くのボランティアの方に前を向いて歩きだすお手伝いをさせていただいている事に**感謝**の気持ちでいっぱいです。社会福祉士もそういった方々と一緒に今も活動を続けています。



現況はボランティアセンターに来所された方の相談と、電話対応が主な支援内容となっています。平日・休日と曜日によって相談人数に差があり、手持無沙汰になる時間もあるようです。でも、そういった時も**「ただ窓口に人がいることに意義がある」**という気持ちで支援にあたっています。



相談内容は、日がたつにつれ多岐にわたっています。

- ・ボランティアの派遣希望、希望してもなかなか入ってもらえない。
- ・ボランティアの募集はまだしているのか。
- ・家屋内外の消毒をしてほしい。
- ・屋外の片づけの仕方について教えてほしい。

- ・入院していたため、片づけが遅れている。
- ・大工さんから壁の下地部分はボランティアに取ってもらうよう言われた。
- ・ボランティアを家族が勝手に追い返してしまった。嫌な思いをさせてしまったのではないか。
- ・被災の手続きの仕方が良くわからない。
- ・情報が入ってこない。
- ・災害車両の申請手続きについて
- ・「高速道路無料化（災害車両登録）」 「復興周遊割制度」について
等等

リーダーが常駐されており、不明な点があればすぐに同席、助言がえられるようになっています。また、マニュアルや注意事項、相談対応に必要な事項などを付箋付きのファイルにまとめてくださっており、それを手元に置いて対応ができるようになっています。初めての参加でも対応に困らないよう配慮がなされています。一番は「被災者の心情に配慮」です。

まだまだ、ボランティアの募集も継続されております。

伝達事項

※足元は冷えるので上履き持参をすすめます。

※来所者が少ない場合、ローラー活動に参加することもある
るので、手袋・上着等の防寒具の用意が必要です。

ローラー活動は二人一組で、自転車で未訪問のお宅を回り、ボランティアセンター移転について周知、現時点の困りごと、ボランティアに頼みたい事の聞き取り、継続的な見守り支援に繋げる必要があるかの確認を行います。